

令和元年度 第1回 小中一貫教育校推進委員会報告書

1 開催概要

日時：令和元年10月31日（木）18:00～19:30 / 場所：旭丘中学校

2 設置の目的

練馬区教育委員会では、旭丘・小竹地区における新たな小中一貫教育校の設置に向けた検討を進めており、平成31年3月に策定した学校施設管理実施計画において、旭丘小学校・旭丘中学校を施設一体型小中一貫教育校として、令和2年度から改築に着手することとしています。

新校の設置に向けて、保護者・町会・学校関係者等の代表を構成員とした会議体（小中一貫教育校推進委員会）を設置し、地域の皆様方からご意見等をいただきながら、今後、施設整備、就学、教育内容等について検討を進めていきます。

《改築スケジュール（予定）》

| 学校名 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|----------------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 旭丘小学校 旭丘中学校 | — | 基本設計 | 実施設計 | 実施設計 | 実施設計 工事開始 |

※ 開校年度については未定（基本設計等の状況に応じて提示予定）

3 第1回の内容

- ① 練馬区の小中一貫教育の取組
- ② 新校の設置に向けた検討イメージ
- ③ 他自治体の施設一体型の事例
- ④ 参考資料（大泉桜学園の取組等）

4 当日の主な意見（まとめ）

- 自然に子どもが集まれるスペースや異学年が交流できるスペースが充実した学校になるとよい。
- 小学1年生から中学3年生までが一緒に学校生活を行うことになるので、みんなが安心して心地よく過ごせる学校にしてほしい。
- 地域との交流スペースなど「開かれた学校」にしてほしいが、安全対策と相反することもあるので、セキュリティ対策はしっかりといただきたい。
- 敷地内に学童クラブ等のスペースや居場所を確保してほしい。
- 地域の伝統や3大学があるといった特色をいかして、地元の子どもが喜んで地元の学校に入りたいと思えるような魅力ある学校にしていきたい。
- 両校の敷地を有効活用し、広い運動場の確保や児童・高齢者施設等を設置してほしい。
- 地域の防災の拠点としての整備をしっかりと行っていく必要がある。
- 小中一貫教育校への移行については、児童生徒や保護者と課題をしっかりと共有しながら丁寧に進めていく必要がある。
- 他の小学校から小中一貫教育校へ入ってくる児童が円滑に学校生活を始めることができるようにしてほしい。
- 小中一貫教育校として、先生方を含め教育委員会としてもしっかりと準備してほしい。